

問い合わせ先

総務部（全体概要）

総務課長 遠田（内線 2110）

海洋情報部（講演等の概要）

監理課長 増田（内線 2510）

TEL：099-250-9800（夜間 9801）



平成26年11月28日

第十管区海上保安本部

防災シンポジウム開催 「鹿児島県海域における火山と防災」 ～ 海からのアプローチ ～

第十管区海上保安本部では、鹿児島県の海域における火山活動に対する災害への防災対策について、この分野の専門家である学識経験者、行政機関、自治体の方々に講演者、パネリストとしてご参加いただき、一般市民を対象にシンポジウムを開催し、地域全体の防災意識の高揚と防災対策の推進を図るものです。

鹿児島県は、台風、豪雨、地震・津波、火山噴火災害等様々な災害をこれまで経験しています。なかでも、海域にある桜島や大隅・トカラ群島の5つの離島火山は今なお活動を繰返しており、特に今年8月には、口永良部島で34年ぶりに噴火があり、今後、火山噴火災害が懸念されます。

桜島や離島火山の防災対策の特徴として、観光客等の一時滞在者を含め島民が避難する際には、船舶等による避難が必要となるほか、噴火や地殻変動による津波等の被害にも備える必要があるなど、陸域の火山とは異なった対策が求められます。

このような状況を踏まえ、第十管区海上保安本部では、地域全体の防災意識の高揚と防災対策の推進を図るために、関係機関と協力して、防災シンポジウムを開催することといたしました。

1. 開催日時

平成27年1月18日（日） 13:30～16:30

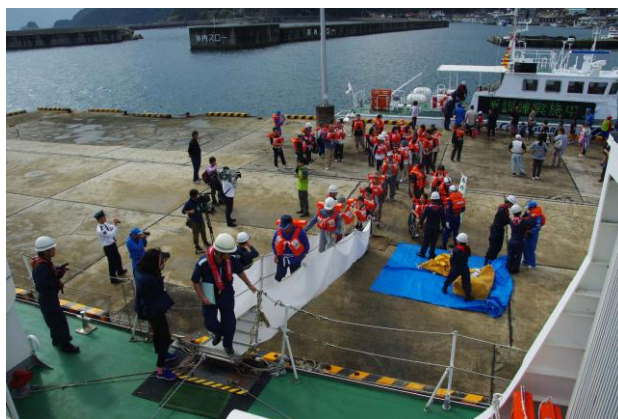
2. 開催場所（会場）

ブルーウェーブイン鹿児島

（鹿児島市山之口町2-7）電話：099-224-3211



口永良部島（新岳からの噴煙と口永良部漁港）



住民島外避難訓練（甑島）

3. 防災シンポジウムの概要

(1) 基調講演

島嶼火山の噴火の多様性

- ・小林 哲夫 (鹿児島大学理工学研究科地球環境科 教授)

2014年口永良部島噴火から考える鹿児島県海域火山の噴火予知の可能性

- ・井口 正人 (京都大学防災研究所火山活動研究センター長)

(2) 海上保安庁における取り組み

海域火山の監視観測

- ・第十管区海上保安本部海洋情報部長

海域・離島における火山防災

- ・第十管区海上保安本部総務部長

(3) パネルディスカッション (海・火山をよく知り災害に備える)

(パネリスト)

- ・小林 哲夫 (鹿児島大学理工学研究科地球環境科 教授)
- ・井口 正人 (京都大学防災研究所火山活動研究センター長)
- ・岩川 健 (屋久島町役場総務課消防交通係主査)
- ・藏町 拓郎 (十島村役場総務課企画消防係主事)
- ・大岩根 尚 (三島村役場定住促進課地球科学研究専門職員)
- ・木口屋博文 (鹿児島市危機管理課長)
- ・杵田 昇 (鹿児島県危機管理局危機管理防災課防災対策監)
- ・山里 平 (鹿児島地方気象台長)
- ・井上 雅英 (鹿児島海上保安部長)

4. 入場料 無料 (どなたでも聴講いただけます。)

5. 定員 200名程度 (事前の予約は必要ありません)

6. その他 (後援)

鹿児島地方気象台、鹿児島県、鹿児島市、屋久島町、十島村、三島村、鹿児島大学、京都大学防災研究所、

NHK鹿児島支局、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、

KKB鹿児島放送、KYT鹿児島読売テレビ、

毎日新聞社鹿児島支局、朝日新聞社鹿児島総局、読売新聞社鹿児島支局、

西日本新聞社鹿児島総局、南日本新聞社、時事通信社鹿児島支局、

共同通信社鹿児島支局、

(財)海上保安協会南九州地方本部

海のもしものは118番!